

区分・種別	県指定天然記念物		
名 称	ナギ		
所 在 地	西宇和郡伊方町中浦		
所 有 者	法通寺	管 理 団 体	
指定年月日	昭和54年3月20日		
解 説	ナギは温暖地の山中に自生するが、神社仏閣の庭樹として栽培されるほかには自生は少ない。寺の観賞樹となっているこのナギは、当地方に稀な巨木である。 境内の一隅で石垣に接した場所ではあるが、南に面した温暖な地の利を得て、よく繁茂した雌株である。 主幹は、地上4.4mで腋芽を出して3本となり、根回り約5m、目通り約3.5m、樹高約18m、地上7mで第一側枝を、それより約1mごとに側枝を出し、枝は半径約8mで東西南北およそ均等に張っている。 主幹には、地上2.6mのところから長さ約4.5m、幅0.7mの縦長い大きな空洞ができて、古木の感をなお一層深めている。		

